

森田北東部土地区画整理事業
街路樹選定基本計画
報告書

平成 27 年 12 月

福井市 建設部 区画整理事務所 区画整理課

1. 街路樹選定委員会の概要		P	1
設置の目的			
設置要綱			
委員構成			
検討概要			
街路樹選定エリア			
2. 街路樹選定の目的と視点		P	3
3. 現況把握と樹種の候補		P	4
4. 街路樹の選定基準の設定		P	8
(1) 路線A(都)川西国道線、路線B(都)福井森田道路			
(2) 路線C(都)上野本町森田新保線			
(3) 路線D(都)九頭竜通り線			
5. 沿道住民・近隣住民 街路樹アンケートの概要		P	14
6. 判断基準の設定		P	16
7. 森田北東部土地区画整理事業 街路樹方針		P	18
8. 今後の展開		P	19

1. 街路樹選定委員会の概要

■設置の目的

森田北東部土地区画整理事業区域内の植樹柵、植樹帯に、福井県緑化マニュアル、福井市街路樹指針等に基づき、委員の意見を集約し、街路樹を選定することによって、街並みに彩りを与え美しい景観をつくりだすことを目的とした。

■設置要綱

森田北東部土地区画整理事業 街路樹選定委員会 設置要綱を下記のとおりとした。

(名称)

第1条 この委員会は、森田北東部土地区画整理事業 街路樹選定委員会（以下「委員会」という。）という。

(目的)

第2条 森田北東部土地区画整理事業区域内の植樹柵、植樹帯に、福井県緑化マニュアル、福井市街路樹指針等に基づき、委員の意見を集約し、街路樹を選定することによって、街並みに彩りを与え美しい景観をつくりだすことを目的とする。

(協議内容)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる協議等を行う。

一 街路樹選定における基本方針と配置計画

二 街路樹の樹種選定

(委員会)

第4条 委員会は、別表1の委員をもって構成する。

(委員長・副委員長)

第5条 委員会には委員長・副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は委員会を代表し、会務を総括する。

3 副委員長は委員長に事故があるとき、その職務を代理する。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、本要綱の施行日から街路樹の樹種選定の提言までとする。

(委員会の開催)

第7条 委員会は、委員長が召集し、開催する。

(事務局)

第8条 委員会の事務局は、福井市建設部区画整理事務所区画整理課とし、委員会の運営に必要な事務を取り扱う。

(その他)

第9条 本要綱に定めのない事項については、委員会にて定める。

附則

1 この規約は、平成26年 9月29日から施行する。

■委員構成

街路樹選定委員は、次の委員により構成された。

氏 名		役 職	備考
内山 秀樹	学識経験者	仁愛女子短期大学 教授	委員長
前田 康博	土地区画整理関係	森田北東部土地区画整理事業（北工区）（南工区）審議会会長	副委員長
加藤 貞信		森田北東部土地区画整理事業（北工区）（南工区）審議会学識経験者	
小寺 恒男		森田北東部土地区画整理事業（北工区）審議会 職務代理者	
菅原 博		森田北東部土地区画整理事業（南工区）審議会 職務代理者	
前田 紀男		森田北東部土地区画整理事業（北工区）審議会 幹事長	
柳原 脩		森田北東部土地区画整理事業（南工区）審議会 幹事長	
安田 寛	地元	森田地区自治会連合会 会長	
吉村 公司		森田公民館 館長	
柳原 健一		森田地区社会福祉協議会 会長	
橋本 哲夫	専門家	樹木医	
岩本 喜洋 (H26) 細川 弥 (H27)	行政	福井県 土木部 道路建設課 街路・市町道グループ グループリーダー	
辻村 直哉 (H26) 野坂 博之 (H27)		福井県 土木事務所 道路保全課 課長 (H26) 福井県 土木事務所 道路第1課 課長 (H27)	
北川 清敏 (H26) 佐野 仁則 (H27)		福井市 建設部 公園課 課長	

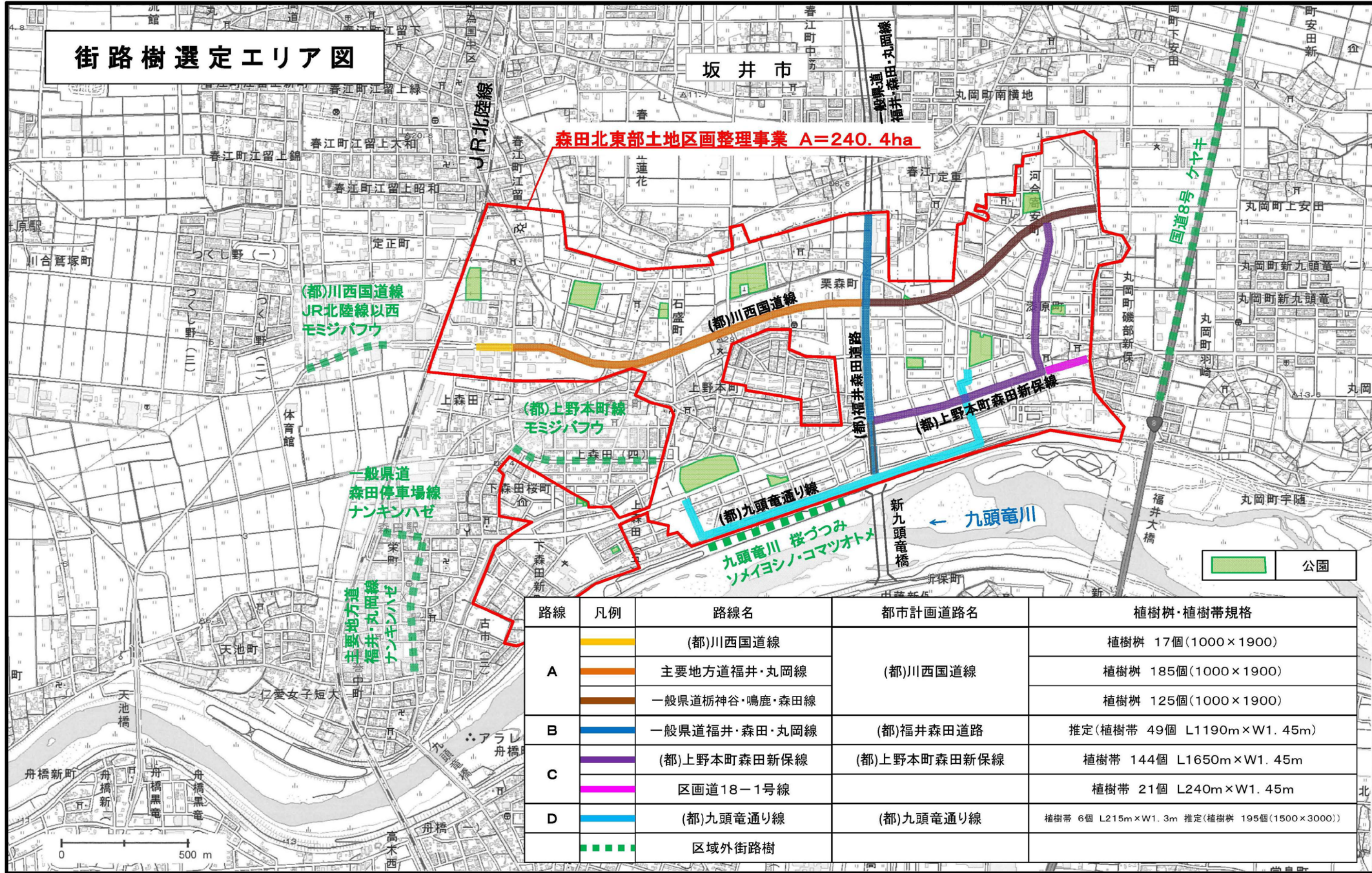
■検討概要

次のとおり、委員会を実施し各々の検討を行った。

	日 時	項 目	内 容
第1回	H26. 9. 29	委員会の設置 概要説明 現状把握	・委員会を立ち上げ、委員長・副委員長の選任 ・福井市街路樹指針等の確認 ・現状把握をした上での樹木候補の検討
第2回	H27. 1. 30	街路樹候補の検討	・各路線の選定基準を設定 ・各路線の街路樹候補の検討
第3回	H27. 10. 26	街路樹選定のとりまとめ	・街路樹候補の現地視察 ・樹木の特性やアンケート結果、風景との調和、専門的見解等により、街路樹方針の決定 ・街路樹を美しく保つため、また、森田地区全体を景観が良好となるための施策を検討

■街路樹選定エリア

森田北東部土地区画整理事業のエリア内の植樹桝のある路線を、路線 A：(都)川西国道線、路線 B：(都)福井森田道路、路線 C：(都)上野本町森田新保線、路線 D：(都)九頭竜通り線の4路線とし街路樹検討を行います。路線 B については福井県（都）福井森田道路街路樹検討会の決定を踏まえ設定します。



2. 街路樹選定の目的と視点

本計画は、森田北東部土地区画整理事業内において、街路樹の方針を定めることを目的としています。樹種の選定にあたっては、福井県緑化マニュアル及び福井市街路樹指針に基づき、地域特性に即し、長期的な維持管理を見据えた樹種を基本とし、街路樹選定委員会やアンケート調査等を踏まえ、市民に愛着と誇りを持って育まれる街路樹の選定をめざします。

街路樹選定の視点

◆基本方針

①のびのびとした自然樹形の確保

②地域の生態系保全に配慮した樹種の選定

③地域内の資源循環

④適正な維持管理

◆地域特性

嶺北平野・丘陵部。暖温帯。冬期の雪は水分を含んで比重が大きい。枝葉に着雪しやすく雪折れ等がある。

常緑樹・落葉樹・低木類は雪対策が必要。

◆樹種の選定

①道路空間に見合った樹種

②地域特性に対応した郷土樹種

③気候・土壌条件に適した樹種

④斉一美・統一美の重視

⑤病害虫に強い樹種

⑥歩行者などに不快感を与えない樹種

⑦大気汚染への抵抗性を考慮した樹種

⑧維持管理の容易な樹種

⑨調達が容易で市場性のある樹種

⑩積雪地域は積雪を考慮して、常緑広葉樹はなるべく避ける方が望ましい。

◆樹種選定の視点

地域性	日本原産、地区(通り)名称の樹種、歩道の利用状況
自然環境適応性	排気ガスや乾燥に強い
維持管理性	生長が遅い、横に広がらない、害虫がつきにくい、落ち葉が少ない
景観特性	落葉・常緑・針葉の特性、樹形・紅葉・花、路線ごとの目標とする樹形
道路空間	建築限界、歩道幅員、架空線
植栽基盤	有効土層

樹種選定の流れ

【樹種選定の流れ】

植栽基盤の確保

道路空間の確保

樹木の選定(高木)

管理目標樹形の設定

地域住民との合意

樹種の決定

長期維持管理計画
短期維持管理計画

【判断要素】

・有効土層厚

・街路樹形状

P 3 ~ P 4

・歩行有効幅員

・建築限界

・架空線の状況

P 3 ~ P 4

・地域性

・自然環境適応性

・景観特性

・維持管理性

P 4 ~ P 13

・樹形タイプ

・目標樹高

・目標枝張り

P 4 ~ P 13

・必要性の啓発

・要望、意見の聴取

P 14 ~ P 15

・アンケート調査結果

・現地視察(H27.10.26)

P 16 ~ P 18

・管理目標形

・剪定、病害虫防除等

・市民参加(清掃・除草)

・緑のリサイクル

P 19

福井市街路樹指針(抜粋)

■有効土層

種別	望ましい深さ	やむを得ない場合
地被・芝	30以上	—
低木	45	30
中木	60	45
高木(浅根性)	90	90
高木(深根性)	150	90

(資料:福井県緑化マニュアル)

■街路樹形状

(資料:福井市街路樹指針)

■樹高の設定

形態	樹形	代表的な街路樹の樹種	最大樹高(m)		枝張り比の目安	
			有効幅員2.0m 最大枝張り4.1m	有効幅員3.5m 最大枝張り7.1m		
常緑樹	卵円形	アラカシ、クロガネモチ、シラカシ、モチノキ、ヤブツバキ、ヤマモモ	10.2	17.7	0.4	
	球形	クスノキ、タブノキ、マチバシイ	8.2	14.2	0.5	
	円錐形	イチョウ	10.2	17.7	0.4	
落葉樹	卵円形	アオギリ、カツラ、コブシ、シンジュ、トウカエデ、ハナミズキ、ブラタナス、モミジバフウ、ヤマボウシ、ユリノキ	10.2	17.7	0.4	
	球形	アキニレ、エンジュ、トゲナシニセアカシア	8.2	14.2	0.5	
	盃状形	アキニレ、ケヤキ、サトザクラ、ソメイヨシノ、トチノキ、ナンキンハゼ	6.8 ※ 4.1	11.8 ※ 7.1	0.6 ※ 1.0	
	枝垂れ形	シダレヤナギ	5.8	10.1	0.7	
	針葉樹	不整形	クロマツ	—	—	—

■建築限界、架空線の状況

(資料:福井県緑化マニュアル)

■管理目標樹形の設定

(資料:福井市街路樹指針)

■目標枝張り

(資料:福井市街路樹指針)

■枝張りの設定

歩道有効幅員	植樹樹幅員を含めた歩道幅員	最大枝張り
2.0m	3.5m	4.5m
	最少 3.1m	4.1m
3.5m	5.0m	7.5m
	最少 4.6m	7.1m

(資料:福井市街路樹指針)

3

3. 現況把握と樹種の候補

路線ごとに沿道と植樹基盤の現況把握を行い、植栽基盤に応じた樹種の候補を上げました。

	路線A（都）川西国道線			路線B（都）福井森田道路	路線C（都）上野本町森田新保線			路線D（都）九頭竜通り線	
沿道の現況と課題	◆東西のゲート、シンボル道路の創出 ・ロードサイド型店舗やコンビニなど低層の商業施設が立地している。 ・農地も残っており、今後、飲食店やパチンコ店等が立地する可能性も高く、景観的な規制や誘導が必要となる。 ・街路樹は、街のゲートやシンボル道路としての風格を印象づける役割を有する。			◆南北のゲート、シンボル道路の創出 ・福井市から新九頭竜橋を通過、坂井市へつながるシンボル道路として、県主体で街路樹を検討するため、連携が必要となる。 ・沿道は一面の農地で視界もよく、街路樹による景観形成のインパクトが大きい。 ・沿道開発のポテンシャルが高く、景観規制・誘導によって阻害景観を遮蔽する役割も有する。	◆洗練された上質の住宅地との調和 ・南北道路は、新築のアパートや住宅が建ち始めた地区。街路樹は、低層住宅地として、洗練された街の品格を印象づける大きな要素となる。 ・東西道路の沿道は、一面の農地で視界もよく、ドライバーの視線を誘導して交通安全の確保をする役割も有する。			◆水と緑と住宅地との調和 ・新築の住居やアパートが建ち始めた地区。 ・九頭竜川の堤防と住宅地の間に位置し、街路樹は、自然と住宅を融和する要素となる。 ・遊歩道も整備されており、散策やウォーキング、ジョギングなど道行く人を日差しから守る役割も有する。	
構成路線	(都)川西国道線	主要地方道 福井・丸岡線	一般県道 栃神谷・鳴鹿・森田線	一般県道福井・森田・丸岡線	(都)上野本町森田新保線(南北)	(都)上野本町森田新保線(東西)	区画道 18-1号線	(都)九頭竜通り線(南北)	(都)九頭竜通り線(東西)
植栽基盤									
□有効土層厚	60cm	60cm	60cm	60cm	60cm	60cm	60cm	60cm	90cm
□街路樹形状	植樹樹 17 個 1000×1900(mm)	植樹樹 185 個 1000×1900(mm)	植樹樹 125 個 1000×1900(mm)	植樹樹 49 個 L1190m×w1.5m(推定)	植樹帯 144 個 L1650m×w1.5m	植樹帯 21 個 L240m×w1.5m	植樹帯 6 個 L215m×w1.5m	植樹樹 195 個 1500×3000(mm)	
道路空間				 					
□歩行有効幅員	4.1m	3.5m	3.5m	3.5m	3.0m	3.0m	3.0m	4.0m	3.0m(路肩 0.5m)
□植樹樹幅員を含めた歩道幅員	5.5m	5.5m	5.5m	5.0m	4.5m	4.5m	4.5m	5.5m	5.0m
□建築限界	歩道側 2.5m、車道側 4.5mを確保			歩道側 2.5m、車道側 4.5mを確保	歩道側 2.5m、車道側 4.5mを確保			歩道側 2.5m、車道側 4.5mを確保	
□植栽間隔	11m			11m	10m			11m	
□架空線の状況	電力線との競合 (交差点付近)	競合なし		競合なし	競合なし			競合なし	

福井市街路樹指針において「街路樹として植栽が適している樹種」の中から最大枝張り、最大樹高を考慮し選定した。

「街路樹として植栽が適してる樹種」は、「日本原産、耐病、耐害虫、成長の速さが遅い、根の深さが深い」のうち、3項目以上適合、または、「日本原産」かつ「アンケートによる評価」のうち、2項目以上適合したもの。

樹木の候補	最大枝張り 7.5m、最大樹高 11.8～17.7m	最大枝張り 7.5m、最大樹高 11.8～17.7m	最大枝張り 4.5m、最大樹高 6.8～10.2m	最大枝張り 7.5m、最大樹高 11.8～17.7m
	常緑樹：クスノキ、シラカシ、タブノキ、マテバシイ ヤマモモ 落葉樹：アオギリ、イチョウ、ケヤキ、カツラ トチノキ、ナンキンハゼ、プラタナス モミジバフウ、ユリノキ	常緑樹：クスノキ、シラカシ、タブノキ、マテバシイ ヤマモモ 落葉樹：アオギリ、イチョウ、ケヤキ、カツラ トチノキ、ナンキンハゼ、プラタナス モミジバフウ、ユリノキ	常緑樹：クロガネモチ、モチノキ、ヤブツバキ 落葉樹：アキニレ、エンジュ、コブシ、シダレヤナギ トウカエデ、ハナミズキ、ヤマボウシ	常緑樹：クスノキ、クロガネモチ、シラカシ、タブノキ マテバシイ、モチノキ、ヤブツバキ、ヤマモモ 落葉樹：アオギリ、アキニレ、イチョウ、エンジュ ケヤキ、カツラ、コブシ、シダレヤナギ トウカエデ、トチノキ、ナンキンハゼ ハナミズキ、プラタナス、モミジバフウ ヤマボウシ、ユリノキ

1 路線A（都）川西国道線、路線B（都）福井森田道路の街路樹候補

【街路樹特性表（高木）】  : 街路樹として植栽が適している樹種の選定基準において、  : 3項目以上適合および樹高 15m以上の樹木

形態分類		樹 種 名	科 名	樹形	地域性		自然環境適応性							維持管理性		植栽管理目標樹形						植栽基盤 有効土層厚の望ましい深さ（m）	景観特性	その他の特性	アンケートによる評価			街路樹として植栽が適している樹種	選定項目		
日本原産	福井に自生	耐煙性	乾湿性	耐潮性	土 壌	耐 病	耐 害 虫	移植難易	生長の速さ	根の深さ	樹高（m）	有効幅員2.0m			有効幅員3.5m			紅葉・花・実・樹形													
最大樹高（m）	最大枝張り（m）	目安（m）	植栽間隔の目安（m）	最大樹高（m）	最大枝張り（m）	目安（m）	植栽間隔の目安（m）																								
針葉	常緑	クロマツ	マツ科	不整	○	○	○	○	○	砂壌	×	×	○	×	○	30-40	-	4.1	-	-	7.1	-	1.5	実・樹形	不整形の樹形により、特徴のある景観となる。福井県・福井市の木。	×	○	×			
広葉	常緑	カイヅカイブキ	ヒノキ科	円錐	×	×	○	○	○	○	埴	○	○	×	-	6-8	10.2	4.1	7-	17.7	7.1	7-	-	樹形		×	○	×			
		アラカシ	ブナ科	卵円	○	○	○	○	○	○	埴	-	-	○	×	○	20	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	×		
		クスノキ	クスノキ科	球	○	×	○	○	○	○	壤	×	○	×	×	○	20-	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐害虫／根が深い
		クロガネモチ	モチノキ科	卵円	○	×	○	○	○	○	壤	○	○	○	○	×	10-15	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	0.9	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／生長が遅い
		シラカシ	ブナ科	卵円	○	○	○	○	○	○	埴	○	○	×	○	○	20	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い
		タブノキ	クスノキ科	球	○	○	○	○	○	○	壤	○	○	×	×	○	20	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い
		マテバシイ	ブナ科	球	○	×	○	○	○	○	壤	○	○	×	×	○	15	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い
		モチノキ	モチノキ科	卵円	○	○	○	○	○	○	壤	○	○	○	○	○	5-10	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	○	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い／生長が遅い
		ヤブツバキ	ツバキ科	卵円	○	○	○	○	○	○	砂壌	○	×	○	○	×	6-18	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	0.9	花		○	○	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／常緑樹／大きく生長しない木
		ヤマモモ	ヤマモモ科	卵円	○	○	○	○	○	○	壤	○	○	○	○	○	20-25	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い
		アオギリ	アオギリ科	卵円	×	×	○	○	○	○	壤	○	○	○	×	○	15	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・実		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い
		アキニレ	ニレ科	球	○	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	×	10	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	0.9	紅葉		○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木
	イチヨウ	イチヨウ科	円錐	×	○	○	○	×	○	砂壌	○	○	○	×	○	30-45	10.2	4.1	7-	17.7	7.1	7-	1.5	紅葉		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い	
	エンジュ	マメ科	球	×	×	○	○	○	○	壤	○	○	○	×	○	10	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	紅葉・花		○	×	○			
	ケヤキ	ニレ科	盃状	○	○	×	×	○	○	埴	○	○	○	×	×	20-25	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	0.9	紅葉	樹高や葉張りが非常に大きくなる	○	×	×	○	日本原産／耐病／耐害虫	
	カツラ	カツラ科	卵円	○	○	×	○	×	○	砂壌	○	○	○	×	○	20-25	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い	
	コブシ	モクレン科	卵円	○	○	○	○	○	○	壤	○	○	○	×	○	8-10	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花・実		○	×	○	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い	
	サトザクラ	バラ科	盃状	○	×	○	○	○	○	壤	×	×	○	×	-	5-10	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	-	紅葉・花		○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木	
	シダレヤナギ	ヤナギ科	枝垂	×	×	○	×	○	○	埴	○	○	○	×	○	8-10	5.8	4.1	-	10.1	7.1	-	1.5	紅葉・樹形		○	×	○			
	シンジュ	ニガキ科	卵円	×	○	○	○	○	○	壤	-	-	○	×	○	8-12	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×			
	ソメイヨシノ	バラ科	盃状	○	○	○	○	×	○	壤	×	×	○	×	○	8	4.1	4.1	7-10	7.1	7.1	-	1.5	紅葉・花	寿命が短い、毛虫の害虫が付きやすい	○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木	
	トウカエデ	カエデ科	卵円	×	×	○	○	○	○	壤	○	○	○	×	○	10-20	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い	
	トチノキ	トチノキ科	盃状	○	○	×	○	○	○	埴	○	○	×	×	○	15-20	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	1.5	紅葉・実	葉（落ち葉）が大きい	○	×	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い／生長が遅い	
	ナンキンハゼ	トウダイグサ科	盃状	×	×	○	○	○	○	壤	○	○	○	×	○	15	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	1.5	紅葉		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い	
	ニセアカシア	マメ科	球	×	○	○	○	○	○	砂壌	○	○	○	×	×	10-15	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	0.9	紅葉・花		○	×	×			
	ハナミズキ	ミズキ科	卵円	×	×	○	○	○	○	砂壌	○	○	○	○	○	12	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花		○	×	○	○	耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い	
	ブラタナス	スズカケノキ科	卵円	×	×	○	○	○	○	砂壌	○	○	○	×	○	35	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉	葉（落ち葉）が大きい、生長が早く維持管理性が極めて劣る	○	×	×		生長が早く維持管理性が極めて劣るため選定外	
	モミジバフウ	マンサク科	卵円	×	×	○	○	○	○	壤	○	○	○	×	○	20-25	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×			
	ヤマボウシ	ミズキ科	卵円	○	○	○	×	○	○	壤	○	○	○	○	○	7-10	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花		○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木	
ユリノキ	モクレン科	卵円	×	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	○	20-30	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花	葉（落ち葉）が大きい	○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い		

（資料：福井市街路樹指針）

2 路線C（都）上野本町森田新保線の街路樹候補

【街路樹特性表（高木）】 ：街路樹として植栽が適している樹種の選定基準において、 ：3項目以上適合および樹高 10m程度の樹木

形態分類		樹 種 名	科 名	樹形	地域性		自然環境適応性							維持管理性		植栽管理目標樹形						植栽基盤 有効土層厚の望ましい深さ（m）	景観特性	その他の特性	アンケートによる評価			街路樹として植栽が適している樹種	選定項目	
日本原産	福井に自生	耐煙性	乾湿性	耐潮性	土 壌	耐 病	耐 害 虫	移植難易	生長の速さ	根の深さ	樹高（m）	有効幅員2.0m			有効幅員3.5m			紅葉・花・実・樹形												
最大樹高（m）	最大枝張り（m）	植栽間隔の目安（m）	最大樹高（m）	最大枝張り（m）	植栽間隔の目安（m）																									
針葉	常緑	クロマツ	マツ科	不整	○	○	○	○	砂壌	×	×	○	×	○	30-40	-	4.1	-	-	7.1	-	1.5	実・樹形	不整形の樹形により、特徴のある景観となる。福井県・福井市の木。	×	○	×			
		カイズカイブキ	ヒノキ科	円錐	×	×	○	○	○	地	-	-	○	×	-	6-8	10.2	4.1	7-	17.7	7.1	7-	-	樹形		×	○	×		
広葉	常緑	アラカシ	ブナ科	卵円	○	○	○	○	○	地壌	-	-	○	×	○	20	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	×		
		クスノキ	クスノキ科	球	○	×	○	○	○	壌	×	○	×	×	○	20-	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐害虫／根が深い
		クロガネモチ	モチノキ科	卵円	○	×	○	○	○	壌	○	○	○	○	×	10-15	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	0.9	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／生長が遅い
		シラカシ	ブナ科	卵円	○	○	○	○	○	地壌	○	○	×	○	○	20	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い
		タブノキ	クスノキ科	球	○	○	○	○	○	壌	○	○	×	×	○	20	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い
		マテバシイ	ブナ科	球	○	×	○	○	○	壌	○	○	×	×	○	15	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い
		モチノキ	モチノキ科	卵円	○	○	○	○	○	壌	○	○	○	○	○	5-10	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	○	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い／生長が遅い
		ヤブツバキ	ツバキ科	卵円	○	○	○	○	○	砂壌	○	×	○	○	×	6-18	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	0.9	花		○	○	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／常緑樹／大きく生長しない木
		ヤマモモ	ヤマモモ科	卵円	○	○	○	○	○	壌	○	○	○	○	○	20-25	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い
		アオギリ	アオギリ科	卵円	×	×	○	○	○	壌	○	○	○	×	○	15	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・実		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い
		アキニレ	ニレ科	球	○	×	○	○	○	地壌	○	○	○	×	×	10	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	0.9	紅葉		○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木
		イチョウ	イチョウ科	円錐	×	○	○	○	×	砂壌	○	○	○	×	○	30-45	10.2	4.1	7-	17.7	7.1	7-	1.5	紅葉		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い
	落葉	エンジュ	マメ科	球	×	×	○	○	○	壌	○	○	○	×	○	10	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	紅葉・花		○	×	○		
		ケヤキ	ニレ科	盃状	○	○	×	×	○	地壌	○	○	○	×	×	20-25	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	0.9	紅葉	樹高や葉張りが非常に大きくなる	○	×	×	○	日本原産／耐病／耐害虫
		カツラ	カツラ科	卵円	○	○	×	○	×	砂壌	○	○	○	×	○	20-25	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い
		コブシ	モクレン科	卵円	○	○	○	○	○	壌	○	○	○	×	○	8-10	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花・実		○	×	○	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い
		サトザクラ	バラ科	盃状	○	×	○	○	○	壌	×	×	○	×	-	5-10	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	-	紅葉・花		○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木
		シダレヤナギ	ヤナギ科	枝垂	×	×	○	×	○	地	○	○	○	×	○	8-10	5.8	4.1	-	10.1	7.1	-	1.5	紅葉・樹形		○	×	○		
		シンジュ	ニガキ科	卵円	×	○	○	○	○	壌	-	-	○	×	○	8-12	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×		
		ソメイヨシノ	バラ科	盃状	○	○	○	○	×	壌	×	×	○	×	○	8	4.1	4.1	7-10	7.1	7.1	-	1.5	紅葉・花	寿命が短い、毛虫の害虫がつきやすい	○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木
		トウカエデ	カエデ科	卵円	×	×	○	○	○	壌	○	○	○	×	○	10-20	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い
		トチノキ	トチノキ科	盃状	○	○	×	○	○	地壌	○	○	×	×	○	15-20	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	1.5	紅葉・実	葉（落ち葉）が大きい	○	×	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い／生長が遅い
		ナンキンハゼ	トウダイグサ科	盃状	×	×	○	○	○	壌	○	○	○	×	○	15	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	1.5	紅葉		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い
		ニセアカシア	マメ科	球	×	○	○	○	○	砂壌	○	○	○	×	×	10-15	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	0.9	紅葉・花		○	×	×		
		ハナミズキ	ミズキ科	卵円	×	×	○	○	○	砂壌	○	○	○	○	○	12	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花		○	×	○	○	耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い
		ブラタナス	スズカケノキ科	卵円	×	×	○	○	○	砂壌	○	○	○	×	○	35	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉	葉（落ち葉）が大きい、生長が早く維持管理性が極めて劣る	○	×	×		生長が早く維持管理性が極めて劣るため選定外
		モミジバフウ	マンサク科	卵円	×	×	○	○	○	壌	○	○	○	×	○	20-25	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×		
		ヤマボウシ	ミズキ科	卵円	○	○	○	×	○	壌	○	○	○	○	○	7-10	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花		○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木
		ユリノキ	モクレン科	卵円	×	×	○	○	○	地壌	○	○	○	×	○	20-30	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花	葉（落ち葉）が大きい	○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い

（資料：福井市街路樹指針）

3 路線D（都）九頭竜通り線の街路樹候補

【街路樹特性表（高木）】

：街路樹として植栽が適している樹種の選定基準において、■：3項目以上適合および樹高 15m以上の樹木 ■：3項目以上適合および樹高 10m以内の樹木

形態分類		樹 種 名	科 名	樹形	地域性		自然環境適応性							維持管理性		植栽管理目標の目安						植栽基盤 有効土層厚の望ましい深さ（m）	景観特性	その他の特性	アンケートによる評価			街路樹として植栽が適している樹種	選定項目			
日本原産	福井に自生	耐煙性	乾湿性	耐潮性	土 壌	耐 病	耐 害 虫	移植難易	生長の速さ	根の深さ	樹高（m）	有効幅員2.0m			有効幅員3.5m			紅葉・花・実・樹形														
最大樹高（m）	最大枝張り（m）	目安（m）	最大樹高（m）	最大枝張り（m）	目安（m）																											
針葉	常緑	クロマツ	マツ科	不整	○	○	○	○	○	砂壌	×	×	○	×	○	30-40	-	4.1	-	-	7.1	-	1.5	実・樹形	不整形の樹形により、特徴のある景観となる。福井県・福井市の木。	×	○	×				
広葉	常緑	カイヅカイブキ	ヒノキ科	円錐	×	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	-	6-8	10.2	4.1	7-	17.7	7.1	7-	-	樹形		×	○	×			
		アラカシ	ブナ科	卵円	○	○	○	○	○	○	埴	-	-	○	×	○	20	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	×			
		クスノキ	クスノキ科	球	○	×	○	○	○	○	埴	×	○	×	×	○	20-	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐害虫／根が深い	
		クロガネモチ	モチノキ科	卵円	○	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	○	×	10-15	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	0.9	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／生長が遅い	
		シラカシ	ブナ科	卵円	○	○	○	○	○	○	埴	○	○	×	○	○	20	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い	
		タブノキ	クスノキ科	球	○	○	○	○	○	○	埴	○	○	×	×	○	20	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い	
		マテバシイ	ブナ科	球	○	×	○	○	○	○	埴	○	○	×	×	○	15	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い	
		モチノキ	モチノキ科	卵円	○	○	○	○	○	○	埴	○	○	○	○	○	5-10	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	○	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い／生長が遅い	
		ヤブツバキ	ツバキ科	卵円	○	○	○	○	○	○	砂壌	○	×	○	○	×	6-18	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	0.9	花		○	○	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／常緑樹／大きく生長しない木	
	落葉	ヤマモモ	ヤマモモ科	卵円	○	○	○	○	○	○	埴	○	○	○	○	○	20-25	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	実		×	○	×	○	日本原産／耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い	
		アオギリ	アオギリ科	卵円	×	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	○	15	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・実		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い	
		アキニレ	ニレ科	球	○	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	×	10	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	0.9	紅葉		○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木	
		イチヨウ	イチヨウ科	円錐	×	○	○	○	×	砂壌	○	○	○	×	○	30-45	10.2	4.1	7-	17.7	7.1	7-	1.5	紅葉		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い		
		エンジュ	マメ科	球	×	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	○	10	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	1.5	紅葉・花		○	×	○			
		ケヤキ	ニレ科	盃状	○	○	×	×	○	埴	○	○	○	×	×	20-25	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	0.9	紅葉	樹高や葉張りが非常に大きくなる	○	×	×	○	○	日本原産／耐病／耐害虫	
		カツラ	カツラ科	卵円	○	○	×	○	×	砂壌	○	○	○	×	○	20-25	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×	○	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い	
		コブシ	モクレン科	卵円	○	○	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	○	8-10	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花・実		○	×	○	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い	
		サトザクラ	バラ科	盃状	○	×	○	○	○	○	埴	×	×	○	×	-	5-10	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	-	紅葉・花		○	×	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木	
		シダレヤナギ	ヤナギ科	枝垂	×	×	○	×	○	埴	○	○	○	×	○	8-10	5.8	4.1	-	10.1	7.1	-	1.5	紅葉・樹形		○	×	○				
		シンジュ	ニガキ科	卵円	×	○	○	○	○	○	埴	-	-	○	×	○	8-12	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×			
		ソメイヨシノ	バラ科	盃状	○	○	○	○	×	埴	×	×	○	×	○	8	4.1	4.1	7-10	7.1	7.1	-	1.5	紅葉・花	寿命が短い、毛虫の害虫がつきやすい	○	×	○	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木	
		トウカエデ	カエデ科	卵円	×	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	○	10-20	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い	
		トチノキ	トチノキ科	盃状	○	○	×	○	○	○	埴	○	○	×	×	○	15-20	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	1.5	紅葉・実	葉（落ち葉）が大きい	○	×	×	○	○	日本原産／耐病／耐害虫／根が深い／生長が遅い
		ナンキンハゼ	トウダイグサ科	盃状	×	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	○	15	6.8	4.1	7-10	11.8	7.1	11-	1.5	紅葉		○	×	×	○	耐病／耐害虫／根が深い	
		ニセアカシア	マメ科	球	×	○	○	○	○	○	砂壌	○	○	○	×	×	10-15	8.2	4.1	9-13	14.2	7.1	11-	0.9	紅葉・花		○	×	×			
		ハナミズキ	ミズキ科	卵円	×	×	○	○	○	○	砂壌	○	○	○	○	○	12	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花		○	×	○	○	○	耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い
		ブラタナス	スズカケノキ科	卵円	×	×	○	○	○	○	砂壌	○	○	○	×	○	35	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉	葉（落ち葉）が大きい、生長が早く維持管理性が極めて劣る	○	×	×			生長が早く維持管理性が極めて劣るため選定外
		モミジバフウ	マンサク科	卵円	×	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	○	20-25	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉		○	×	×			
		ヤマボウシ	ミズキ科	卵円	○	○	○	×	○	○	埴	○	○	○	○	○	7-10	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花		○	×	○	○	○	日本原産／新緑・紅葉・花／大きく生長しない木
ユリノキ	モクレン科	卵円	×	×	○	○	○	○	埴	○	○	○	×	○	20-30	10.2	4.1	10-	17.7	7.1	10-	1.5	紅葉・花	葉（落ち葉）が大きい	○	×	×	○	○	耐病／耐害虫／根が深い		

（資料：福井市街路樹指針）

4. 街路樹の選定基準の設定

路線ごとに選定基準の考え方と評価を設定し、候補樹木を絞り込みました。

(1) 路線A（都）川西国道線、路線B（都）福井森田道路の街路樹候補

■選定基準の考え方

① 福井市街路樹指針における「街路樹として植栽が適している樹種の選定基準」において、3項目以上適合する樹木を選定。

② シンボル道路にふさわしい樹高 15m程度の樹木を選定。

③ シンボル性のある樹木を「壮大な自然樹形：樹形の美しいシンボルとなる樹木」「常緑：維持管理がしやすい樹木」「紅葉：紅葉が楽しめる樹木」に分類。

シンボル性を重視
(壮大な自然樹形)

① 森田地区の未来の街並みを創造するシンボル軸として、白山連峰の山並みや九頭竜川の風景や北陸の気候・風土にふさわしい雄大さと美しさを重視する。

② 居住者や歩行者、通行車が、新緑や緑陰、紅葉など四季折々の季節を楽しめる樹木とする。

③ 維持管理を踏まえ、剪定の必要性が少ない自然樹形の美しい高木とし、病虫害や鳥害の被害が少なく、根の深い樹木とする。

④ 落葉清掃や雑草除去などを通じて、市民がまちの風格や魅力づくりに向けて活動しやすい環境づくりや支援を検討する。

分類	分類	樹種名	科目	樹形	地域性		自然適応性		維持管理性		樹高	管理目標樹形、植栽間隔			植栽基盤の深さ	景観特性
					日本原産	福井に自生	耐病	耐害虫	生長が遅い	根が深い		最大樹高	最大枝張り	植栽間隔		
壮大な自然樹形	落葉	カツラ	カツラ科	卵円	○	○	○	○	×	○	20～25m	17.1m	7.1m	10m～	1.5m	紅葉
	常緑	クスノキ	クスノキ科	球	○	×	×	○	×	○	20m	14.2m	7.1m	11m～	1.5m	実
	落葉	ケヤキ	ニレ科	盃状	○	○	○	○	×	×	20～25m	11.8m	7.1m	11m～	0.9m	紅葉
	落葉	ユリノキ	モクレン科	卵円	×	×	○	○	×	○	20～30m	17.1m	7.1m	10m～	1.5m	紅葉・花
常緑	常緑	シラカシ	ブナ科	卵円	○	○	○	○	○	○	20m	17.1m	7.1m	10m～	1.5m	実
	常緑	ヤマモモ	ヤマモモ科	卵円	○	○	○	○	○	○	20～25m	17.1m	7.1m	10m～	1.5m	実
	常緑	タブノキ	クスノキ科	球	○	○	○	○	×	○	20m	14.2m	7.1m	11m～	1.5m	実
	常緑	マテバシイ	ブナ科	卵円	○	×	○	○	×	○	15m	14.2m	7.1m	11m～	1.5m	実
紅葉	落葉	トチノキ	トチノキ科	盃状	○	○	○	○	×	○	15～20m	11.8m	7.1m	11m～	1.5m	紅葉・実
	落葉	イチョウ	イチョウ科	円錐	×	○	○	○	×	○	30～45m	17.7m	4.1m	7m～	1.5m	紅葉
	落葉	アオギリ	アオギリ科	卵円	×	×	○	○	×	○	20～25m	17.7m	7.1m	10m～	1.5m	紅葉
	落葉	ナンキンハゼ	トウダイグサ科	盃状	×	×	○	○	×	○	15m	11.8m	7.1m	11m～	1.5m	紅葉

■評価(専門的見地)

壮大な自然樹形		常緑(葉や実が楽しめる)		紅葉(紅葉が楽しめる)	
長 所	短 所	長 所	短 所	長 所	短 所
◎自然のままの樹形が美しく、枝を広げた壮大な姿となり、シンボルとしてのインパクトが大きい。 ◎夏季は緑陰効果が高く、冬季は葉を落とすので陽だまりが楽しめる。 ◎自然樹形が理想で無剪定でよい。	△樹高や枝張りが大きくなる樹木は、道路標識や信号機などのある場所では適正な配置や剪定を要する。	◎年中、常緑で葉や実が楽しめる。 ◎落葉が少ないので清掃の負担が小さい。	△樹形が小さく、シンボルとしてのインパクトに欠ける。 △緑陰効果が乏しい。 △四季の変化が乏しい。 △剪定は高度な技術と手間を要す。 △カイガラムシとスズ病を併発する。	◎紅葉が美しく、秋季に季節感のあるシンボルとなる。	△シンボルの樹形を保つ剪定は、高度な技術と手間を要する。 △大量に葉が落ちるので清掃管理や沿道住民の協力が必要になる。 △既存の街路樹において、落葉や病虫害、強剪定の問題が多い。

	カツラ		クスノキ		ケヤキ		ユリノキ	
評価	【長所】 ◎日本原産で福井に自生し、山並みなどの風景や風土、気候に馴染みやすい。 ◎幹は真っ直ぐ、美しい樹形をつくる。 ◎葉はハート形で、春先にかけて花弁のない紅紫色の花をつけ秋に黄葉し、季節感がある。 ◎土を選ばず生息しやすい。 ◎自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。 【短所】 △県内では街路樹としての前例が少ない。		【長所】 ◎日本原産で常緑樹の中では最も大きくなり壮大。 ◎主幹が立たず横張の強い重厚感があり、たおやかな樹冠をつくる。大気汚染に強い。 ◎新緑時に古い葉と入れ替わり、落葉が少ない。 ◎落葉樹のような明るい緑陰をつくる。 ◎自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。 【短所】 △福井に自生せず、山並みなどの風景や降雪の風土に馴染みにくい。		【長所】 ◎樹形が美しく、世界の広葉樹の中でも落葉後の冬姿の美しさは第一級とされる。 ◎盃状に枝を広げるので緑陰効果が大さい。 ◎自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。 【短所】 △樹高や枝張りが非常に大きくなり、看板や道路標識などを圧迫するため、高度で適正な剪定が必要。 △根が浅いため、根上りや浮き上がりの対策が必要。 △近年、鳥害が著しく、適正な対策が必要。		【長所】 ◎真っ直ぐに伸びる端正な印象。 ◎新緑の明るい葉色、秋の黄葉の対比が美しく上品。 ◎排水の良い湿潤地を好み、大気汚染に強い。 【短所】 △日本原産ではなく、風景に馴染まず、寒さに弱い。 △剪定は、枝全体に陽が当たるよう細めの枝を間引くため、高度な技術と手間、費用を要する。	
選定項目	○：日本原産／耐病／耐害虫／根が深い ×：生長が早い		○：日本原産／耐害虫／根が深い ×：福井に自生しない／耐病／生長が早い		○：日本原産／耐病／耐害虫 ×：生長が早い／根が浅い／樹高や枝張りが大きい		○：耐病／耐害虫／根が深い ×：日本原産ではない／福井に自生しない／生長が早い	
樹形・樹高	卵円／20～25m		卵円／20～25m		盃状／20～25m		卵円／20～30m	
管理目標 樹形	最大樹高：17.7m	植栽間隔：10m～	最大樹高：14.2m	植栽間隔：11m～	最大樹高：11.8m	植栽間隔：11m～	最大樹高：17.7m	植栽間隔：10m～
	最大枝張り：7.1m	植栽基盤の深さ：1.5m	最大枝張り：7.1m	植栽基盤の深さ：1.5m	最大枝張り：7.1m	植栽基盤の深さ：1.5m	最大枝張り：7.1m	植栽基盤の深さ：1.5m
イメージ 写真								

(2) 路線C（都）上野本町森田新保線の街路樹候補

■選定基準の考え方

- ① 福井市街路樹指針における「街路樹として植栽が適している樹種の選定基準」において、3項目以上適合する樹木を選定。
- ② 歩道や住宅へ延伸せず、低層の住宅地にふさわしい樹高 10m程度の樹木を選定。
- ③ 季節感の感じられる樹木を「四季折々：花や実、紅葉が楽しめる樹木」「紅葉：紅葉が楽しめる樹木」「常緑：葉や実が楽しめる樹木」に分類。

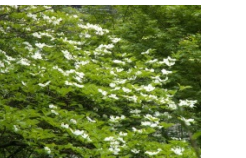
季節感を重視 (四季折々)	① 新興住宅地として、上品で落ち着いたある街並みに寄与する樹木とする。 ② 居住者や歩行者にとって、新緑や花、紅葉、実など四季折々の季節が楽しめる樹木とする。 ③ 維持管理を踏まえ、剪定の必要性が少ない自然樹形の美しい樹木とし、大きく成長せず、病虫害や鳥害の被害が少ない樹木とする。 ④ 落葉清掃や雑草除去などを通じて、住民や遊歩道の利用者が自然環境の保全やネットワークづくりに向けて活動しやすい環境づくりや支援を検討する。
------------------	--



分類	分類	樹種名	科目	樹形	地域性		自然適応性		維持管理性		樹高	管理目標樹形、植栽間隔			植栽基盤の深さ	景観特性
					日本原産	福井に自生	耐病	耐害虫	生長が遅い	根が深い		最大樹高	最大枝張り	植栽間隔		
四季折々	落葉	ヤマボウシ	ミズキ科	卵円	○	○	○	○	○	○	7～10m	10.2m	4.1m	10m～	1.5m	紅葉・花
	落葉	ハナミズキ	ミズキ科	卵円	×	×	○	○	○	○	12m	10.2m	4.1m	10m～	0.9m	紅葉・花
	落葉	コブシ	モクレン科	卵円	○	○	○	○	×	○	8～10m	10.2m	4.1m	10m～	1.5m	紅葉・花・実
紅葉	落葉	アキニレ	ニレ科	球	○	×	○	○	×	×	10m	8.2m	4.1m	9～13m	0.9m	紅葉・実
	落葉	トウカエデ	カエデ科	卵円	×	×	○	○	×	○	10～20m	10.2m	4.1m	10m～	1.5m	紅葉
常緑	常緑	モチノキ	モチノキ科	卵円	○	○	○	○	○	○	5～10m	10.2m	4.1m	10m～	1.5m	実
	常緑	ヤブツバキ	ツバキ科	卵円	○	○	○	×	○	○	6～18m	10.2m	4.1m	10m～	0.9m	実
	常緑	クロガネモチ	モチノキ科	卵円	○	×	○	○	○	×	10～15m	10.2m	4.1m	10m～	1.5m	実

■評価(専門的見地)

四季折々(花・実・紅葉が楽しめる)		紅葉(紅葉が楽しめる)		常緑(葉や実が楽しめる)	
長 所	短 所	長 所	短 所	長 所	短 所
◎華やかな花、実、紅葉により、四季を通じて楽しめる。 ◎夏季は緑陰効果が高く、冬季は葉を落とすので陽だまりが楽しめる。 ◎自然樹形が理想で無剪定でよい。 ◎傘状の樹冠は、住宅地や歩道に圧迫感がなくやさしい印象になる。	△水枯れに弱い。 △秋に大量に葉が落ちるので清掃管理や沿道住民の協力が必要になる。	◎紅葉が美しく、季節感がある。	△美しい樹形を保つには、高度な剪定技術と手間を要する。 △秋に大量に葉が落ちるので清掃管理や沿道住民の協力が必要になる。	◎年中、常緑で葉や実が楽しめる。 ◎落葉が少ないので清掃の負担が小さい。	△四季の変化が乏しい。 △樹形が小さく、緑陰効果が乏しい。 △美しい樹冠をつくるためには高度な剪定技術と手間を要する。 △剪定が不適切な場合、カイガラムシとスズ病を併発する。

	ヤマボウシ		ハナミズキ		コブシ	
評価	【長所】 ◎福井に自生し、風景に馴染み、住宅地として上品で 落ち着いた印象を与えることができる。 ◎新緑、花、紅葉と四季を通じて楽しむことができる。 ◎適度な緑陰があり、住宅地の歩行者にもやさしい。 ◎大きく成長しないので維持管理がしやすい。 ◎自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。 【短所】 △夏に乾燥すると枯れやすいので水やりが必要。 △アブラムシ、カイガラムシやスズ病の防虫が必要。		【長所】 ◎細かく枝分かれした小枝が傘型の樹冠をつくり、華 やかな白や紅色の花や紅葉や実も楽しめる。 ◎耐病や病害虫に強い。 ◎根が深く、生長が遅いので維持管理がしやすい。 ◎自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。 【短所】 △日本原産ではなく、福井に自生しないため、住宅地 としては華やかすぎる印象になる。 △花や実が落下したときの清掃が必要。		【長所】 ◎福井に自生し、開葉前の 3～5 月に樹冠を覆うくら いに花を密生し、秋には紅葉や実も楽しめる。 ◎耐病や病害虫に強い。 ◎根が深く、湿潤な土壌でよく育ち、寒さに強い。 ◎自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。 【短所】 △生長が早く、生長に応じた適正な剪定や樹形の確 保が必要。 △花や実が落下したときの清掃が必要。	
選定項目	○：日本原産／新緑・紅葉・花／大きく成長しない		○：耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い ×：日本原産ではない／福井に自生していない		○：日本原産／耐病／耐害虫／根が深い ×：生長が早い	
樹形・樹高	卵円／7～10m		卵円／12m		卵円／8～10m	
管理目標	最大樹高：10.2m	植栽間隔：10m～	最大樹高：10.2m	植栽間隔：10m～	最大樹高：10.2m	植栽間隔：10m～
樹形	最大枝張り：4.1m	植栽基盤の深さ：1.5m	最大枝張り：4.1m	植栽基盤の深さ：1.5m	最大枝張り：4.1m	植栽基盤の深さ：1.5m
イメージ 写真	    		    		    	

■選定基準の考え方

- ① 福井市街路樹指針における「街路樹として植栽が適している樹種の選定基準」において、3項目以上適合する樹木を選定。
- ② 河川敷や歩行者道路にふさわしい樹高 10m～15m程度の樹木を選定。
- ③ 季節感の感じられる樹木を「四季折々：花や実、紅葉が楽しめる樹木」「紅葉：紅葉が楽しめる樹木」「常緑：葉や実が楽しめる樹木」に分類。

季節感を重視 (四季折々・紅葉)	① 九頭竜川や河川敷の桜の風景と調和しつつ、遊歩道として四季の変化に富む樹木とする。 ② 居住者や遊歩道の利用者にとって、新緑や花、紅葉、実など四季折々の季節が楽しめる樹木とする。 ③ 維持管理を踏まえ、剪定の必要性が少ない自然樹形の美しい樹木とし、大きく成長せず、病虫害や鳥害の被害が少ない樹木とする。 ④ 落葉清掃や雑草除去などを通じて、住民がまちの魅力づくりやネットワークづくりに向けて活動しやすい環境づくりや支援を検討する。
---------------------	---



分類	分類	樹種名	科目	樹形	地域性		自然適応性		維持管理性		樹高	管理目標樹形、植栽間隔			植栽基盤の深さ	景観特性
					日本原産	福井に自生	耐病	耐害虫	生長が遅い	根が深い		最大樹高	最大枝張り	植栽間隔		
四季折々	落葉	コブシ	モクレン科	卵円	○	○	○	○	×	○	8～10m	10.2m	4.1m	10m～	1.5m	紅葉・花・実
	落葉	ハナミズキ	ミズキ科	卵円	×	×	○	○	○	○	12m	10.2m	4.1m	10m～	0.9m	紅葉・花
	落葉	ヤマボウシ	ミズキ科	卵円	○	○	○	○	○	○	7～10m	10.2m	4.1m	10m～	1.5m	紅葉・花
紅葉	落葉	アキニレ	ニレ科	球	○	×	○	○	×	×	10m	8.2m	4.1m	9～13m	0.9m	紅葉・実
	落葉	トウカエデ	カエデ科	卵円	×	×	○	○	×	○	10～20m	10.2m	4.1m	10m～	1.5m	紅葉
常緑	常緑	シラカシ	ブナ科	卵円	○	○	○	○	○	○	20m	17.1m	7.1m	10m～	1.5m	実
	常緑	ヤマモモ	ヤマモモ科	卵円	○	○	○	○	○	○	20～25m	17.1m	7.1m	10m～	1.5m	実

■評価(専門的見地)

四季折々(花・実・紅葉が楽しめる)		紅葉(紅葉が楽しめる)		常緑(葉と実が楽しめる)	
長 所	長 所	長 所	短 所	長 所	短 所
◎華やかな花、実、紅葉により、四季を通じて楽しめる。 ◎夏季は緑陰効果が高く、冬季は葉を落とすので陽だまりが楽しめる。 ◎剪定は控え、自然樹形を保てる。 ◎自然樹形が理想で無剪定でよい。 ◎傘状の樹冠は、住宅地や歩道に圧迫感がなくやさしい印象になる。	△水枯れに弱い。 △秋に大量に葉が落ちるので清掃管理や沿道住民の協力が必要になる。	◎紅葉が美しく、季節感がある。 ◎樹形を大きくすれば、緑陰効果がある。	△美しい樹形を保つには、高度な剪定技術と手間を要する。 △秋に大量に葉が落ちるので清掃管理や沿道住民の協力が必要になる。	◎年中、常緑で葉や実が楽しめる。 ◎落ち葉が少ないので清掃の負担が小さい。 ◎樹形を大きくすれば、緑陰効果がある。	△四季の変化が乏しい。 △美しい樹冠をつくるためには高度な剪定技術と手間を要する。 △剪定が不適切な場合、カイガラムシとスズ病を併発する。

	コブシ		ハナミズキ		アキニレ		トウカエデ	
評価	【長所】 ◎福井に自生し、山並みや河川敷のサクラ、九頭竜川の風景や住宅地と調和している。 ◎散策やウォーキングなど遊歩道の利用者にとって、花、紅葉、実と四季を通じて楽しめる。 ◎耐病や病害虫に強い。 ◎根が深く、湿潤な土壌でよく育ち、寒さに強い。 ◎自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。 【短所】 △緑陰が乏しい。		【長所】 ◎華やかな花や紅葉、実がなり、四季を通じてインパクトのある遊歩道を楽しめる。 ◎耐病や病害虫に強い。 ◎根が深く、生長が遅いので維持管理がしやすい。 ◎自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。 【短所】 △日本原産ではなく、福井に自生しないため、山並みや九頭竜川に対して華やかすぎる印象になる。 △生長が遅いので緑陰が乏しい。		【長所】 ◎大きな樹冠で密に広がり、夏季は緑陰を与える。 ◎秋に花や実がなり、紅葉するので、河川敷の桜と合わせて春と秋のインパクトが大きい。 ◎自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。 【短所】 △福井に自生しないため、山並みや九頭竜川に対して唐突感がある。 △樹木が大きくなるので住宅地側には圧迫感がある。 △秋に大量に落葉するので清掃の協力が必要。		【長所】 ◎小さな葉がやさしい木陰をつくり、新緑が美しい。 ◎紅葉は、黄色、橙色、赤に染め分け、河川敷の桜と合わせて春と秋のインパクトが大きい。 ◎自然樹形を基本とし、冬季剪定を行う。 【短所】 △日本原産ではなく、アメリカヒロシトリが食害するので防虫対策が必要。 △樹木が大きくなるので住宅地側には圧迫感がある。 △秋に大量に落葉するので清掃の協力が必要。	
選定項目	○：日本原産／耐病／耐害虫／根が深い ×：生長が早い		○：耐病／耐害虫／生長が遅い／根が深い ×：日本原産ではない／福井に自生していない		○：日本原産／新緑・紅葉・花／大きく成長しない ×：福井に自生しない／生長が早い／根が浅い		○：耐病／耐害虫／根が深い ×：日本原産ではない／福井に自生しない／生長が早い	
樹形・樹高	卵円／8～10m		卵円／12m		球／10m		卵円／10～20m	
管理目標	最大樹高：10.2m	植栽間隔：10m～	最大樹高：10.2m	植栽間隔：10m～	最大樹高：8.2m	植栽間隔：9～13m	最大樹高：10.2m	植栽間隔：10m～
樹形	最大枝張り：4.1m	植栽基盤の深さ：1.5m	最大枝張り：4.1m	植栽基盤の深さ：1.5m	最大枝張り：4.1m	植栽基盤の深さ：0.9m	最大枝張り：4.1m	植栽基盤の深さ：1.5m
イメージ写真	   		    		    		     	

5. 沿道住民・近隣住民 街路樹アンケートの概要

① アンケートの概要

目 的:沿道に民家のある路線C:上野本町森田新保線、路線D:九頭竜通り線について、沿道および近隣住民に日常 管理等に協力しながら街路樹を楽しんでいただけるよう、地元の意見も参考としたいためアンケートを実施した。 期 間:平成 27 年6月8日(月)～6月 25 日(木) 対象路線:路線C(上野本町森田新保線)および路線D(九頭竜通り線)の沿道住民・近隣住民	調査方法:個別訪問による聞き取り調査 沿道住民はすべての世帯を対象。近隣住民は全体の約 40%とし、町内割合は延長按分で設定した。 また、近隣住民は、町内会長、農家組合長、土地区画整理審議員を含む近隣にお住いの住民とした。
--	---

② アンケート結果

路線C:上野本町森田新保線

■回答者は 52 世帯。(沿道 31 世帯、近隣 21 世帯)

■沿道住民の回答率 91.2%(31 世帯/34 世帯)

■ハナミズキが 27 世帯で最も多く、次いでヤマボウシ 15 世帯、コブシ3世帯、不要4世帯、無回答3世帯となっている。

■分布をみると、路線Cの南北軸はハナミズキを希望する世帯が多く、東西軸はヤマボウシを希望する世帯が多い。

●回答者の内訳(単位:世帯)

	沿道	近隣	総数
森田新保町	16	7	23
漆原町	13	7	20
上野本町	2	7	9
合計	31	21	52

●回答者内訳

●希望街路樹(単位:世帯)

●希望街路樹の割合

東西路線

南北路線

路線D:九頭竜通り線

■回答者数は 30 世帯。(沿道 19 世帯、近隣 14 世帯)

■沿道住民の回答率 100%(19 世帯/19 世帯)

■コブシが 11 世帯で最も多く、次いでトウカエデ 10 世帯、ハナミズキ 9 世帯、不要2世帯、無回答1世帯となっている。
アキニレの得票はなかった。

■分布をみると、沿道はハナミズキとコブシを希望する世帯が多い。近隣はトウカエデやコブシを希望する世帯が多い。

●回答者の内訳(単位:世帯)

	沿道	近隣	総数
上野本町	15	7	22
漆原町	4	3	7
森田新保町	0	4	4
合計	19	14	33

●回答者内訳

●希望街路樹(単位:世帯)

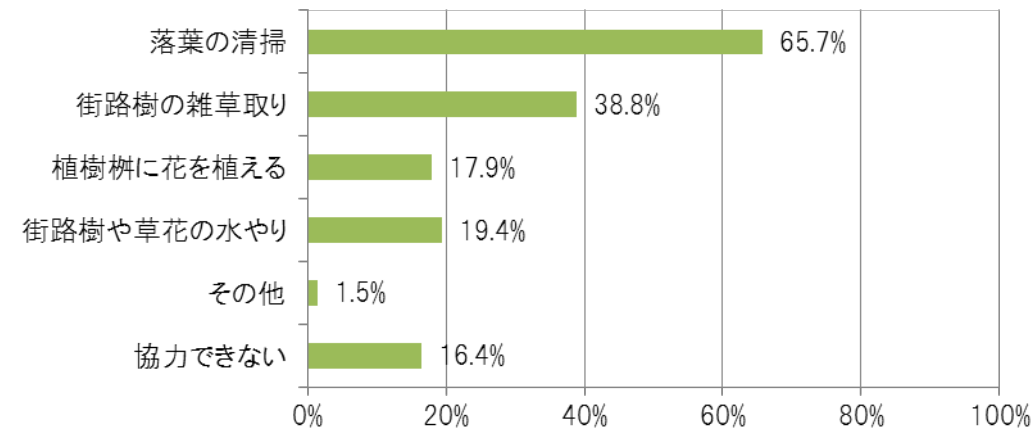
●希望街路樹の割合

堤防沿い

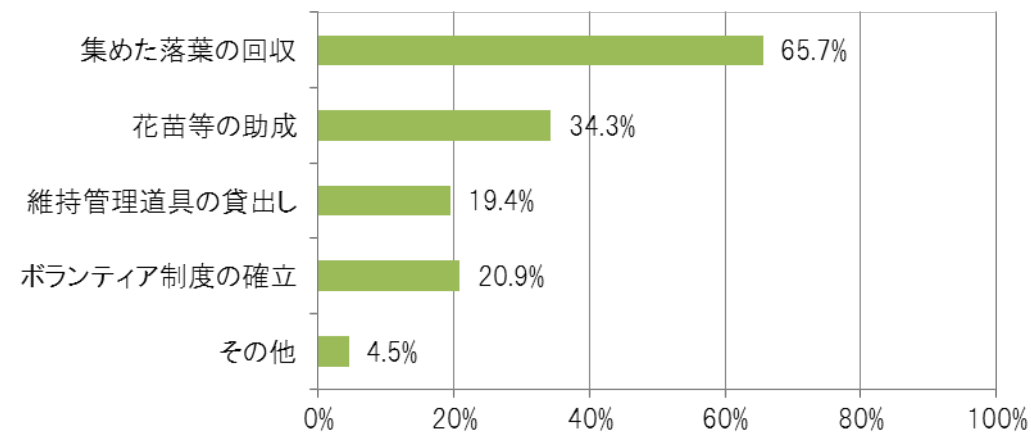
南北道路

維持管理について

■街路樹の維持管理について、どこまで協力いただけるかを聞いたところ、「落ち葉の清掃」に6割強の世帯の協力を得た。次いで、「雑草取り」は約4割、「街路樹や草花の水やり」が約2割となっている。概ね、協力的な意見を得られた。



■街路樹の維持管理について、管理者に支援してほしいことを聞いたところ、「集めた落ち葉の回収」が6割強となっている。その他の意見として、ゴミ袋の支給も上げられている。花苗等の助成が3割強となっている。



【その他】

- ・住民への負担を少なくしてほしい。
- ・害虫の定期的な駆除と防除
- ・落ち葉を燃えるゴミの日に出すため、ゴミ袋の支給。

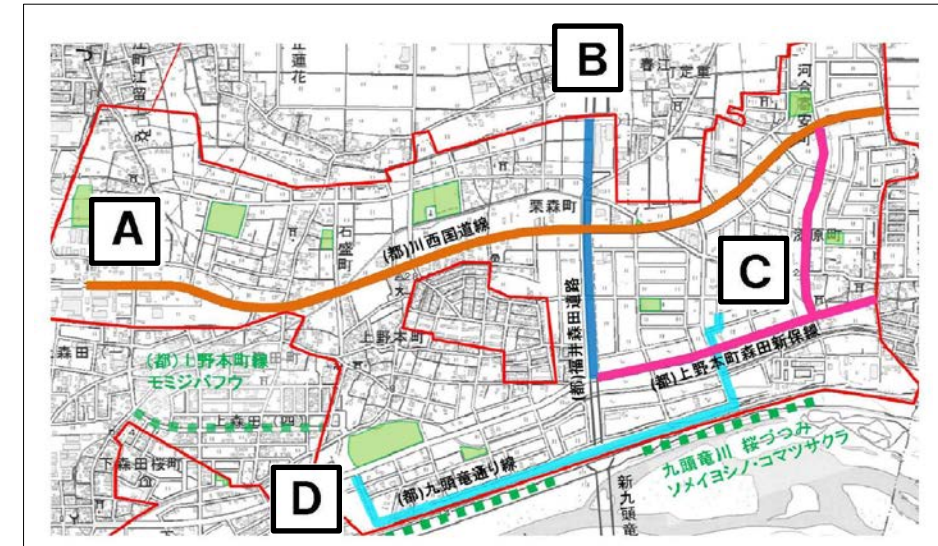
その他の意見

- ・管理者で道路清掃(落ち葉回収)を行ってほしい。
- ・維持管理の少ない樹木を選んでほしい。落ち葉の少ない樹種にしてほしい。
- ・沿線の人だけでなく、森田地区として維持管理を行ってほしい。
- ・子供がいるので虫のつかない木を選んでほしい。(アトピー等)
- ・街路樹は、高木も低木も必要ない。
- ・街路樹は植えてほしくない。
(理由:維持管理できない、乗入の邪魔になる、入口がわかり難くなる、風が強く落ち葉が広範囲に舞い散る)

参照:アンケート内容

森田北東部土地区画整理事業 街路樹アンケート

日頃より森田北東部土地区画整理事業の推進にご協力頂き誠にありがとうございます。当事業も終盤を迎え、街路樹の選定を進めています。つきましては、樹種の選定にあたって、皆様のご意見をいただきたくアンケートを実施します。ご協力よろしくお願いいたします。



(1) 植えて欲しい街路樹を選んでください。

上野本町森田新保線沿線にお住まいの方にお伺いします。

C 上野本町森田新保線は、新築のアパートや住宅が建ち始めた住宅地で、魅力ある住宅地の景観をつくり、四季を彩る樹木を候補としてあげています。どの樹木がよいと思いますか？

1. ヤマボウシ
2. ハナミズキ
3. コブシ

九頭竜通り線沿線にお住まいの方にお伺いします。

D 九頭竜通り線は、堤防沿いの遊歩道がある道路です。山並みや九頭竜川の風景と調和し、四季を通じて散策などが楽しめる樹木を候補としてあげています。どの樹木がよいと思いますか？

1. コブシ
2. ハナミズキ
3. アキニレ
4. トウカエデ

(2) 街路樹の維持管理に関する質問です。

①街路樹の維持管理について、何処まで協力をお願いしますか？(複数回答可)

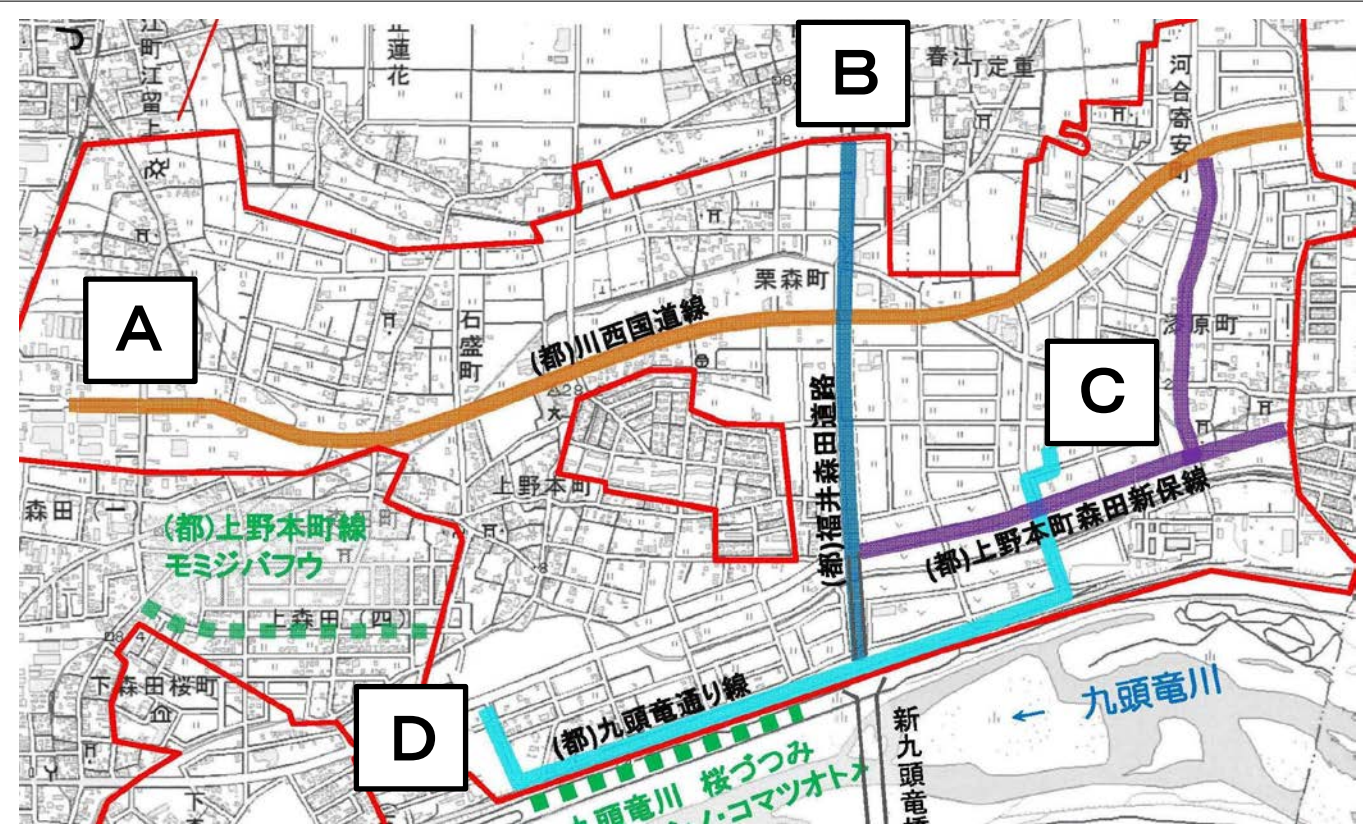
1. 落ち葉等の清掃
2. 植樹桝の雑草取り
3. 植樹桝の空いている所に花を植える
4. 街路樹や草花への水やり
5. その他()

②街路樹の維持管理について、管理者に支援してほしい事は何ですか？(複数回答可)

1. 集めた落ち葉の回収
2. 花苗等の助成
3. 維持管理道具の貸出し
4. ボランティア制度の確立
5. その他()

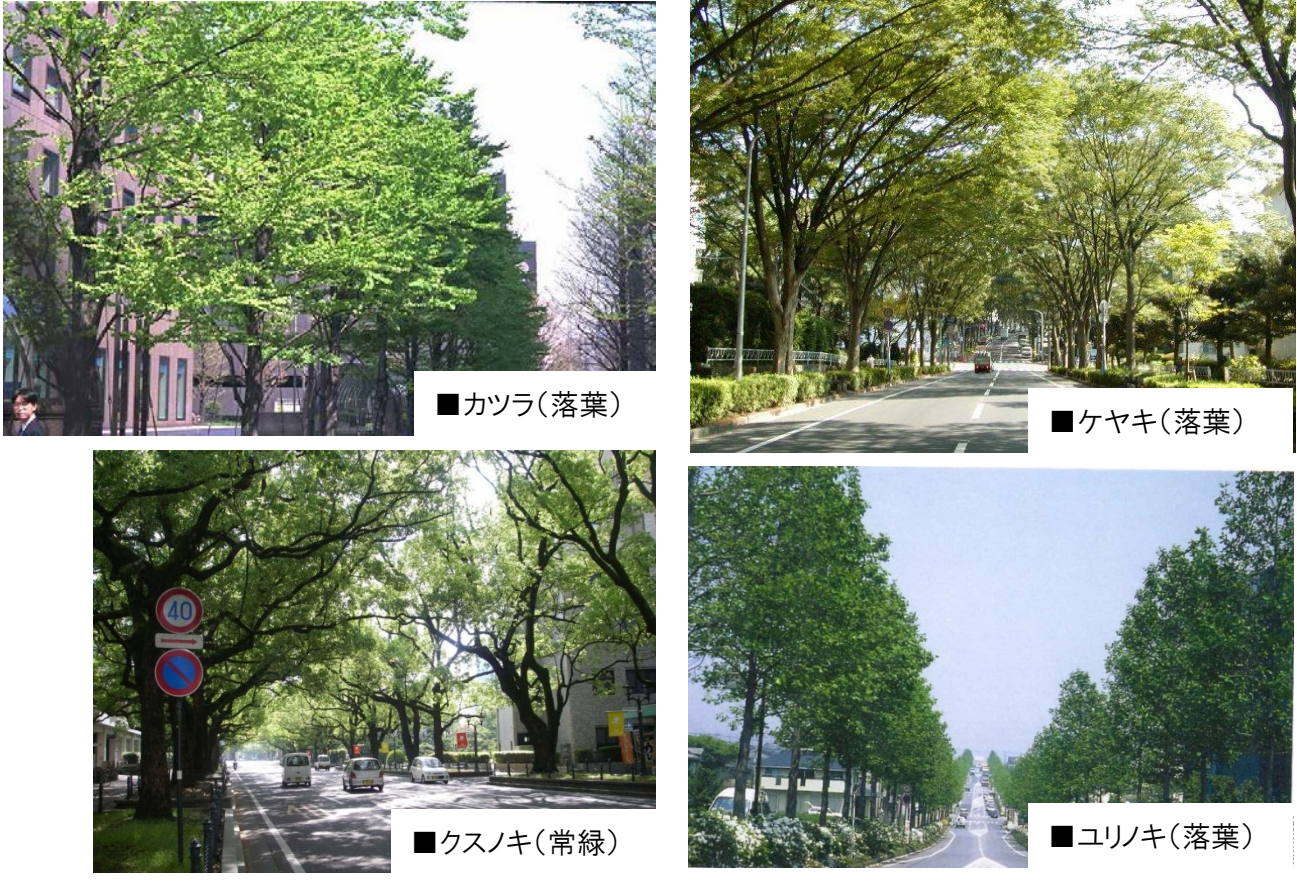
6. 判断基準の設定

樹木の特性、風景との調和、専門的見解の判断基準を設定し、樹種ごとに評価しました。



路線A:(都)川西国道線								
	カツラ		クスノキ		ケヤキ		ユリノキ	
樹木の特性	◎	自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。葉や花、紅葉が楽しめ、季節感がある。	◎	常緑樹だが明るい緑陰をつくり、落葉が少ない。自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。	○	冬の樹形が美しく、緑陰効果大きい。樹高や枝張りが大きく高度な剪定が必要。根が浅く根上しやすい。	△	新緑と紅葉の対比が美しい。外来種で寒さに弱い。剪定に高度な技術と費用を要する。
風景との調和	◎	福井に自生し山並みや河川敷の風景・気候に馴染む	○	福井に自生せず、山並みの風景や降雪の風土に馴染みにくい	◎	福井に自生し山並みや河川敷の風景・気候に馴染む	△	日本原産ではないので、風景や気候に馴染みにくい。
専門的見解	◎	植樹事例が少ない。先進性・独自性が期待できる。	△	冬に落葉しないので、積雪時や冬の印象が重い。	○	都市のシンボル軸で多用。中心部では鳥害が発生してる	△	落ち葉清掃が大変なので沿道の方の支持が少ない。

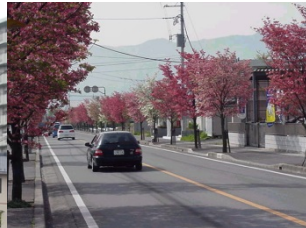
路線B:(都)福井森田道路			
ヤエザクラ			
樹木の特性	◎	自然樹形を基本とし、過度な剪定は不要。葉や花、紅葉が楽しめ、季節感がある。	
風景との調和	◎	福井に自生のため山並みや河川敷の風景・気候に馴染む	
専門的見解	○	植樹事例が多い。既存の維持管理に慣れている。	



路線C: 上野本町森田新保線						
	ヤマボウシ		ハナミズキ		コブシ	
樹木の特性	◎	福井に自生 耐病・耐害虫 生長が遅く、維持管理しやすい	○	外来種 耐病・耐害虫 生長が遅く、維持管理しやすい	○	福井に自生 耐病・耐害虫 生長が早く、維持管理ににくい。
近隣・沿道住民アンケート	○	15世帯 植物の詳しい人に好まれる傾向がある	◎	27世帯 認知度が高く、共感が得られやすい	×	3世帯 希望者が少なく、支持が低い
路線ごとの組み合わせ	◎	路線Dの候補樹木との組み合わせはすべてよい	○	路線Dがハナミズキになると重複して単調な街並みになる	○	路線Dがコブシになると重複して単調な街並みになる
風景との調和	◎	日本原産のため山並みなど自然風景に映える	◎	華やかな花のため住宅街では映える。	◎	日本原産のため山並みなど自然風景に映える
専門的見解	◎	田園風景にも住宅地にも映える	○	風に弱いため、田園部分では不向き	△	生長が早いので大きな目の植樹帯にする必要あり



■ヤマボウシ(落葉)



■ハナミズキ(落葉)

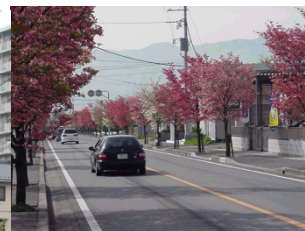


■コブシ(落葉)

路線D: 九頭竜通り線						
	コブシ		ハナミズキ		トウカエデ	
樹木の特性	◎	福井に自生 耐病・耐害虫 生長が早い、植樹帯が大きく問題なし	○	外来種 耐病・耐害虫 生長が遅く、維持管理しやすい	△	外来種 耐病・耐害虫 生長が早い、植樹帯が大きく問題なし
近隣・沿道住民アンケート	◎	11世帯 沿道、近隣の支持のバランスがよい	○	9世帯 特に沿道の支持が高い	○	10世帯 沿道より近隣の支持が高い
路線ごとの組み合わせ	○	路線Cがコブシになると重複して単調な街並みになる	○	路線Cがハナミズキになると重複して単調な街並みになる	◎	路線Cの候補樹木との組み合わせはよい
風景との調和	◎	日本原産のため山並みや河川敷の自然風景に馴染む	◎	華やかな花のため住宅街では映える。	◎	春の桜と秋の紅葉でインパクトがある
専門的見解	◎	紅葉・花・実で季節感が最も期待できる	○	風に弱いため、河川敷では不向き	△	落ち葉清掃が大変であり、沿道の方の支持が少ない



■コブシ(落葉)



■ハナミズキ(落葉)



■トウカエデ(落葉)

7. 森田北東部土地区画整理事業 街路樹方針

判断基準を踏まえ、各路線の樹木の方針を決定しました。

路線名	決定樹種(南北軸)	決定樹種(東西軸)
路線A:(都)川西国道線	カツラ(落葉)	
路線B:(都)福井森田道路	ヤエザクラ(落葉)	
路線C:(都)上野本町森田新保線	ハナミズキ(落葉)	ヤマボウシ(落葉)
路線D:(都)九頭竜通り線	ハナミズキ(落葉)	コブシ(落葉)

路線A:(都)川西国道線

■カツラ(落葉)



■提案理由

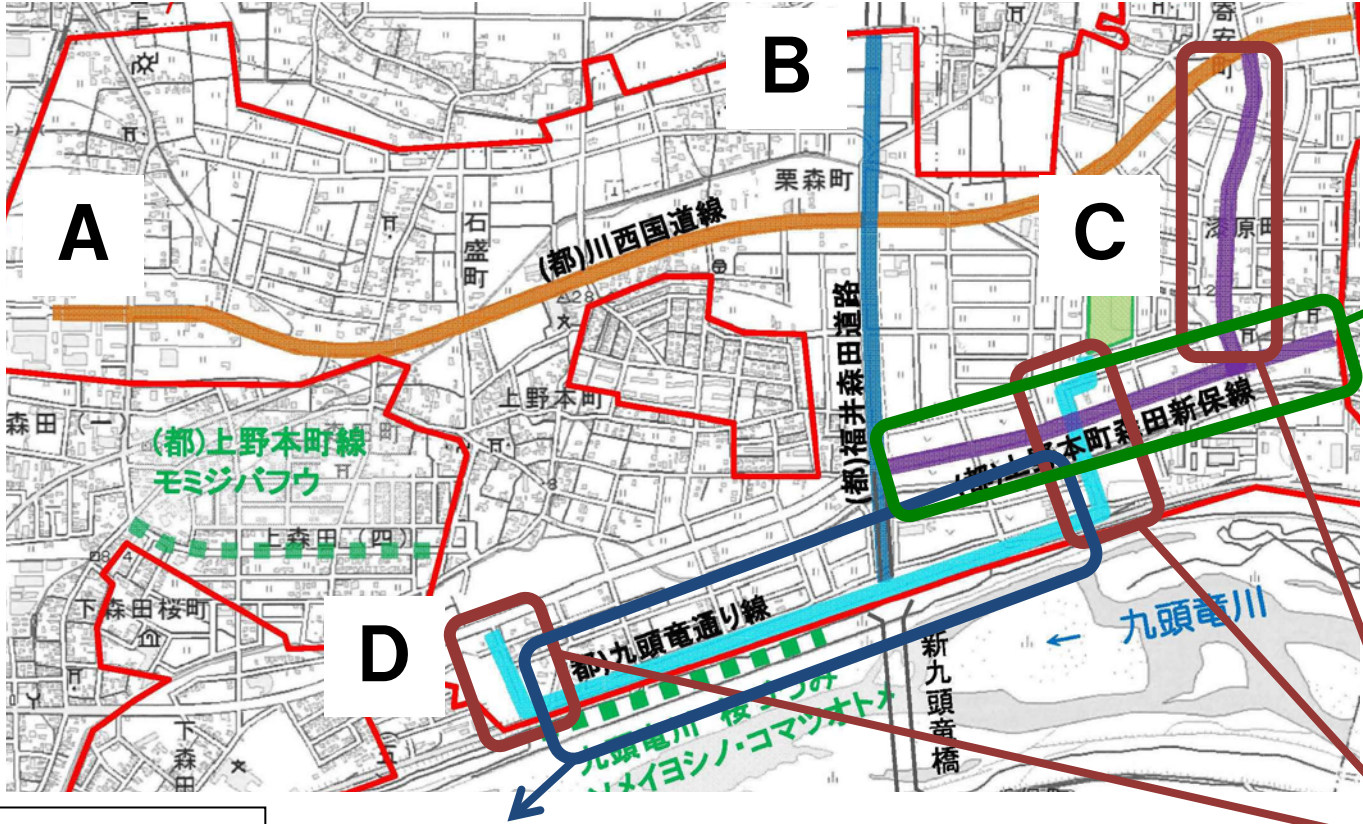
- ①日本原産で福井にも自生し、一本の幹がまっすぐに伸びて枝葉を広げ、自然樹形は壮大で美しいものとなります。
- ②葉っぱがハート形で美しく、淡いグリーンの葉色のため全体的に明るい印象になる。秋には、黄色く色付きカラメルの香りを発する。
- ③前例が少ないゆえに、森田地区のシンボルとして、独自性や先進性が期待できる。

路線B:(都)福井森田道路

■ヤエザクラ(落葉)



■福井県(都)福井森田道路街路樹検討会により、ヤエザクラに決定。



路線D:(都)九頭竜通り線

■コブシ(落葉)



■提案理由

- ①街路樹アンケートで最も支持された樹木で住民の方が愛着を持ち易く、維持管理に協力してもらい易い。
- ②遊歩道に四季折々の変化をもたらす樹木で、維持管理がしやすい。
- ③植樹枿が大きいので十分な成長が期待でき、福井にも自生している樹木のため、河川敷や山並みの風景と調和する。

路線C:(都)上野本町森田新保線

■ヤマボウシ(落葉)



■提案理由

- ①街路樹アンケートで支持された樹木で住民の方が愛着を持ち易く、維持管理に協力してもらい易い。(主に路線Cの東西軸)
- ②福井に自生し、風景に馴染み、住宅地や田園に上品で落ち着いた印象を与える。
- ③ハナミズキは風に弱いため、強風が予想されるC路線の東西軸はヤマボウシが適する。

■ハナミズキ(落葉)



■提案理由

- ①街路樹アンケートで最も支持された樹木で住民の方が愛着を持ち易く、維持管理に協力してもらい易い。(主に路線C・路線Dの南北軸)
- ②枝いっぱい花を咲かせ、住宅地として華やかな印象を与える。

8. 今後の展開

行政と市民による維持管理の役割を示します。市民と行政の協働による美しい景観形成をめざします。

行政による維持管理

1. 長期維持管理計画

樹木の経年変化に対応した管理作業を設定し、長い期間の見通しを立てて行う「長期維持管理計画」に基づき、街路樹を管理します。

- 第1段階: 活着期
- 第2段階: 育成期 → 「管理目標形」
- 第3段階: 成木維持期

◆維持管理作業

- ① 剪定
- ② 樹形の作り直し
- ③ 病虫害防除
- ④ 鳥害対策
- ⑤ 巡回点検(パトロール)

2. 短期(年間)維持管理計画

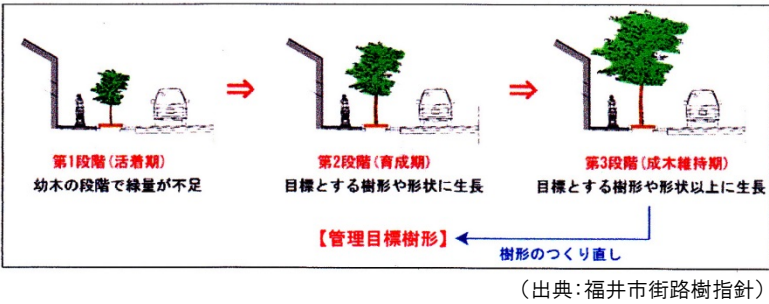
最少の経費で最大の効果を上げることができるとように、定期的作業、不定期作業、臨時作業ごとに区分して短期(年間)維持管理計画に基づき、維持管理に努めます。定期作業は、点検、清掃、樹木等の手入れ、不定期作業には、枯損木の撤去、樹木の補植、支柱の取り換え、臨時作業は、台風・地震等による復旧や倒木起こし等です。

●短期(年間)維持管理作業計画表の例

管理作業		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	頻度	摘要
高木管理	夏季剪定														年1回	台風や降雪に備えての剪定は最小限に押え自然樹形を尊重した剪定を行う。
	冬季剪定														〃	
	移植、補植														必要の都度	移植、補植は春の適期に行うことが好ましい。
	枯損樹木撤去														〃	枯損樹木は速かに撤去する。
	支柱取替え再結束														〃	成長に応じた支柱の取付け、融雪後の支柱の取替え再結束に留意する。
	施肥														年1回	樹勢に応じて施す。
	病虫害防除														必要の都度	早期発見、早期駆除に努める。
	障害枝葉撤去やことり														〃	不要枝は剪定する。
	除草、下草刈り														年2〜3回	雑草は開花、結実前にとる。
	刈込剪定														年1〜2回	花木類・花芽分化(樹種によって異なる→別頁表4-4)が始まるまでに行う。
低木管理	施肥														年1回	樹勢に応じて施す。
	移植、補植														必要の都度	春の適期に行うことが好ましい。
	除草、下草刈り														年2〜3回	雑草は開花、結実前にとる。
	巡回点検														年1〜2回	各種工事、看板、焚木、ゴミの投棄等にも気をつける。
共通事項	清掃														必要の都度	落葉、落枝、紙クズ、ゴミ等の除去
	灌水														〃	必要に応じて、適宜行う。
	雪囲い、雪吊り 防寒対策等														年2回	降雪量を考慮して堅固にかつ見栄えよく施工する。 撤去は開葉前および新芽の伸びない前に行う。

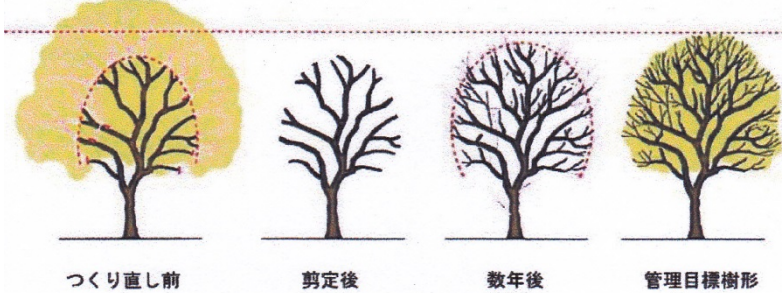
(出典: 福井市街路樹指針・福井県緑化マニュアル)

●樹木の管理段階



(出典: 福井市街路樹指針)

●樹形の作り直し後の経年変化イメージ



(出典: 美しい街路樹を育てる一樹形の作り直し一社団法人日本造園建設業協会編)

市民による景観づくり、維持管理

1. 日常的な維持管理

市民においては、日常的な街路樹の維持管理として、第1段階(活着期)の夏場の水やりや秋の落ち葉の清掃、植樹柵の除草など、地域ぐるみで取り組んでいただくことが理想です。

維持管理に取り組みやすいよう、市民協働の街路樹づくりに取り組みます。

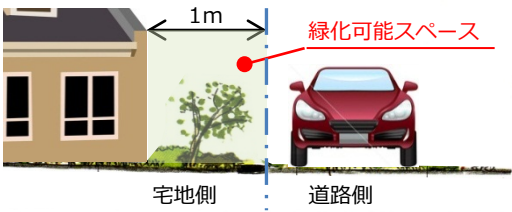
- ① 水やり
植樹したばかりの第1段階(活着期)には、特に夏場の水やりが大切になります。
- ② 落ち葉の清掃
秋の落ち葉の清掃が必要になります。地域ぐるみで取り組むなどの工夫が必要です。
- ③ 除草
清掃活動や気づいたらこまめにとるなど地域ぐるみできれいにすることが大切です。

2. 景観ガイドラインの作成

自治会などが主体となって、景観協議会を設立し、景観ガイドラインなど市民主体の景観の規制・誘導のルールづくりによって、美しい住宅地の形成が可能となります。建物の色彩や植栽の種類、配置など、地区ならではのルールについて、景観まちづくり勉強会などを重ねながら決めて、住民同士で共有していきます。

景観計画、景観地区、地区計画、緑地協定、建築協定、住民協定など、行政との連携で都市計画の制度にもとづいた規制・誘導の手法もいくつかあります。地区の実情に応じて、検討することが重要です。

●森田北東部の地区計画



- ・区画整理では、地区計画で壁面の位置は道路、水路の境界線から1m離すこととしています。
- ・緑化可能スペースの有効利用について、住民で決めることができます。

●建物と緑化の配置イメージ



●先進事例(福井市みのり3丁目、住民協定)



- 制限** ・道路境界線より敷地内1mの範囲を緑化ゾーンと定め緑化に努める。前面道路より高さ 50 cm 以内の石垣等を除いて建築物、付帯構造物を設置してはならない。
- ・緑化ゾーンには、別に定める樹種により、密植するのとし、高木は1本以上植樹するものとする。
- ・敷地内の樹木は、土地の所有者の責任で管理する。
- 効果** ・緑あふれる快適で豊かな居住空間を作りだし、居住者や来訪者に癒しと快適な生活空間を与えている。

